

次の古文を読んで、下の問いに答えなさい。

すべて人のふるまひは、おもらかに言葉少なにて、人をも馴ならさず、
①人にも馴ならされず、笑えを笑えはず、戯たはむれ好たまず、ととろかに、おとなしくふるまひて居たれば、心の中は知らず、よきものかなと見えて、人にも恥ぢられ、所をも置かるるなり。

かかれど、これはなつかしく、思はしきかたにはあらず。ただ、乱るべき所には乱れ、折に②したがひて戯れをもし、をかしき事も笑ひ、人の名残をも惜しみ、友にしたがふ心ありて、わりなく思はれぬるには、徳多かりとぞ、古き人、多く定められける。
〔十訓抄じゅんしょう〕より〕

おもらかに…重々しく。

人をも馴らさず…他人を軽々しく思わず。

笑を笑はず…愚かしい行動を笑わず。

人にも恥ぢられ…他人から敬われ。

なつかしく、思はしきかたにはあらず…本当には慕わしく好ましいとは言えない。わりなく…この上なく大切に。

古き人、多く定められける…昔の人はよく言っている。

問一 ①「人にも馴らされず」の意味として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 他人とはあまり親しくなれずに
- イ 他人からも軽々しく思われずに
- ウ 他人とも慣れることができずに
- エ 他人に対しては軽々しく思つて

答…イ

問二 ②「したがひて」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

答…したがひて

問三 田中さんは、この古文の内容を次のようにまとめました。

この古文は、人のふるまひはA重々しい態度がよいか、Bくだけた態度がよいかについて述べています。

A「重々しい態度」 B「くだけた態度」について、筆者はそれぞれ他人からどう思われると述べているか。Aは十七字、Bは九字で、それぞれ古文中から書き抜きなさい。

答…A 人にも恥ぢられ、所をも置かるる

B わりなく思はれぬる